

2019年2月16日(土)

東エコクラブ「武蔵野市・冬の鳥を観察しよう」

本日、東エコクラブは成蹊学園の構内で行われた、主催：武蔵野市環境政策課、後援：成蹊学園サステナビリティ教育研究センター、協力：日本獣生命科学大学カントリー、講師：公益社団法人日本生態系協会で行われた「むさしの鳥・蝶しらべ“冬の鳥を観察しよう”」観察会に参加してきました。

前日までの気候に比べ、この日は春の訪れを肌で感じられるほど、暖かい一日でした。武蔵野市や関係の方々のご挨拶のあと、今日の参加は小学校4年生が多いということで、東エコクラブの学齢を対象に事前勉強会をしてからの観察会となりました。一年中見られる留鳥、夏鳥、冬鳥、渡り鳥など、分かりやすい説明をいただきました。その後、発見した鳥をそのままメモに取るだけでなく、いつ?どこで?どのようにして?何の鳥が?何羽?発見し、その時、その鳥は何をしていたか?を書き込む観察シートが配られ、子ども達は皆一様に空を見上げて、鳥を探しました。

その表には15回分まで記入する欄があったのですが、最終的には15回分では足りないくらいの観察ができました。成蹊学園構内では25種類の鳥が観察できるのですが、その内、多いグループでは13種類もの鳥が観察できたということで、大きな観察成果となりました。

観察したあとは「鳥合わせ」と称した観察結果をシートにまとめ、発表しあいました。とても有意義な観察イベントでした。



